

令和5年度 事業計画

1. 令和5年度 事業計画の骨子

目標	実施計画および具体的内容	成果指標
<p>1. 組織体制を強化し、組織内および各関連機関と連携のとれた組織となる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 定期的に総会・運営会議・理事会・各地区定例会・各部会・各委員会を開催し、組織的に取り組む。 2) 会員相互の連絡・報告が円滑に行われる組織を目指す。 3) 専門部会間の連携を強化する。 4) 定款・細則・規程を見直し、組織運営を効果的なものにする。 5) 日本助産師会と連携して組織運営を行う。 6) 各自治体および関連団体と連携する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 総会：令和5年4月29日（祝）オンライン運営会議：6回、理事会：8回 地区定例会・部会・委員会を定期的に開催する。事業計画に則り事業の推進・調整・支援を行う。 2) 大潮を年3回発行する。 ホームページやメールリストを用いて、随時会員に情報を発信する。 3) 3部会集会や交流会等で部会間の連携を図る。地域と施設で働く会員が連携する機会を作る。 4) 定款及び細則を見直し、必要時改定を行う。委員会等の規程を整備する。 5) 日本助産師会総会に代議員を派遣する。 日本助産師会・南北関東地区の代表者会議に参加して協議する。 6) 千葉県と情報共有をして、協力や要望を行う。 各地区を通して、市町村の事業に協力する。看護協会や医師会等の関連団体と連携する。新型コロナウイルス感染症対策や災害支援において自治体および関連団体と連携する。
<p>2. 地域で活動する助産師に対し、安全対策への組織的な取り組みを行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 助産所の質の維持を図る。 2) 事件事例等の報告書を作成し、その組織的な運用を通して母子の安全に努める。 3) 母乳育児支援、産後ケアにおける母子の安全に努める。 4) 保健指導の安全管理指針の策定を推進する。 5) 安全のための講習会の受講を推進する。 6) 日本助産師会賠償責任保険への加入を推進する。 7) 地域の協力機関との連携を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 助産所の安全管理評価を実施する。 評価後の改善策への取り組みを支援する。 分娩取り扱い助産所の基準について審議する。 2) 全助産所部会員のIT利用により転院・搬送報告等を速やかに行い、分娩件数統計に努める。事故・搬送・転院事例、ヒヤリハット事例の報告書作成を支援し、事例の検証・検討会を行う。 3) 安全な母乳育児支援、産後ケアのための情報を共有する。with コロナにおける感染症対策に関する情報提供を行う。 4) 保健指導開業助産所（来所型）の安全管理指針およびBCPの作成に取り組む。 5) 安全管理研修を年2回開催する。 6) 助産所・保健指導・勤務助産師それぞれに賠償責任保険への加入を推奨する。 7) 産婦人科医会との研修会を企画する。 地域の産婦人科医と情報交換を行う。
<p>3. 助産および母子保健事業を実施する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 電話無料相談（ミッドライフ千葉）を継続する。 2) 電話相談における地域との連携を深める 3) コロナ禍を考慮した方法で、「国際助産師の日」のつどいを開催する。 4) 地域と施設の連携の推進を図り、安定した継続母子保健活動を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 相談事業運営を見直し、安定した運営を行う。 電話相談員を確保し、電話相談を継続する。 2) 助産所や他機関との連携を図る。 3) 令和5年6月4日（日）に「今だからこそつながりたい“いのちの力”」をテーマに千葉市生涯学習センターにて「国際助産師の日」のつどいを開催予定である。 4) 地区活動等に勤務助産師も加わり、連携をとりながら母子保健活動を実施する。 各地区と関連施設が情報交換を行い、連携する。周産期に特化した訪問看護ステーションについ

	<p>5) 産後ケアの質の向上を図る。</p> <p>6) 千葉県及び市町村と連携して母子保健事業を推進する。</p>	<p>て検討する。</p> <p>5) 産後ケア実務助産師研修修了者の充実・普及につなげ、行政と協力して産後ケア事業を実施する。 地域と施設の連携に向けて、産後ケア等の情報交換の機会をつくる。</p> <p>6) 産後ケアアドバイザーが自治体の事業に積極的に関わることができるよう支援する。 市町村の産後ケア事業の受託を推進する。 寄り添い型支援等の要請に応じて協力する。</p>
4. 助産師のキャリア・アップを支援する。	<p>1) 助産師の継続教育として必要かつ効果的な研修会を開催する。</p> <p>2) CloCMiP®ラダーⅢの認証および更新を推進する。</p> <p>3) 各種表彰を推進する。</p>	<p>1) 教育体系に沿って教育計画を立案・実施する。 コロナ禍に対応した研修会を企画・実施する。</p> <p>2) ラダーⅢの認証および更新に必要な情報を収集し、会員に周知する。 ラダーⅢ対応の研修会を開催する。</p> <p>3) 各種表彰に既定数の候補者を選出して表彰につなげる。 会を通して表彰の候補者を推薦する。</p>
5. 講師を育成し、健康教育を実施する。	<p>1) 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める。</p> <p>2) 「生と性の健康教育」の方略を検討する。</p>	<p>1) 研修・交流会を開催する。 ニュースレターの活用をすすめる。</p> <p>2) 様々な課題を抱える中でも健康教育を継続していけるよう図る。</p>
6. 災害対策への取り組みを強化する。	<p>1) 災害発生時に対応できる組織を整備する。</p> <p>2) 日本助産師会や他県の助産師会との連携を強化する。</p> <p>3) 千葉県や各市町村との連携を強化する。</p>	<p>1) 災害時の連絡網を整備し、情報共有を図る。 災害時支援のシミュレーションを実施する。 災害時支援協力員・協力助産院を確保する。 災害時支援マニュアルの熟読を推進する。</p> <p>2) 日本助産師会や他機関の研修会に参加する。 近隣助産師会の災害時支援の連携について検討する。</p> <p>3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。 各市町村との災害支援協力を図る。 千葉県小児周産期リエゾンに参加し、リエゾンの一員として役割を果たす。</p>
7. 会員増加と会員同士の交流を図る。	<p>1) 会員の定着により助産師会活動の活性化を図る。</p> <p>2) 会員同士の交流を図る。</p>	<p>1) 会員の定着を目指す。「目標 375 名」 非会員の研修参加を促し入会の機会とする。 地域での健康教育等の協力を募り、非会員に助産師会の活動を知ってもらう。</p> <p>2) 年 1 回、菜の花会を開催する。 世代や部会を超えた会員同士の交流の場として、新しい生活様式での菜の花会の開催方法を検討する。</p>
8. 千葉県助産師会の事務所の管理・運営の安定化を図る。	<p>1) 事務所の管理・運営方法を見直す。</p> <p>2) 事務員の雇用の安定化を図る。</p>	<p>1) 事務所の管理・運営方法を適宜確認する。 事務所内の書類・物品の整備を行う。 事務所移転について検討する。</p> <p>2) 事務員が働きやすい環境を整備する。</p>

2. 地区部会活動計画

令和5年度 第1地区部会 活動計画

地区部会名：柏・野田・我孫子・流山・松戸	地区部会長：加藤 睦
----------------------	------------

定例会開催予定：11回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上を図る	1) 定例会の開催 2) 研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインと対面の両方を活用し、開催時間帯も複数設けて行い、より多くの会員とのつながりを保つ。 ・最新の情報の伝達、研修会報告や情報交換をする。 ・地区会員の興味もてる内容での研修会を開催する。
2. 地域に密着した、助産師ができる保健活動を行う。	1) 子育て・女性の健康支援 2) 我孫子市しあわせママパパ学級 3) 産後ケア 4) 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・会員各自の活動の充実。 ・地域の子育て・健康イベント参加。 ・母子保健関連会議への参加 ・子育て・女性支援団体への協力。 ・円滑な運営のための我孫子市との連絡、調整、情報交換。 ・委託された市との連絡・調整、会議を通してよりよいケアを提供する。 ・地区として他職種への講師の依頼、個人の活動でも積極的に連携を図る。
3. 健康教育活動の充実	1) 性の健康教育事業 2) 性の健康教育講師の育成 新人の育成と既存講師のブラッシュアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼先への講師派遣。連絡調整。 ・実施後の報告、統計。 ・教材管理 ・意見交換会の開催。 ・研修会への参加 ・健康教育意見交換会への参加 ・講座の見学の実施
4. 災害に備え、母子の災害時支援をする	1) 災害対策 2) 災害時母子支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新・災害時マニュアルを確認する ・災害対策についての研修会に出る。 ・防災会議への出席と母子の専門家であることの周知 ・防災訓練への参加 ・市町村との災害時についての話し合い ・災害時は母子支援に携わる。

令和5年度 第2地区部会 活動計画

地区部会名：市川・浦安	地区部会長：増田文子
-------------	------------

定例会開催予定：6回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、知識技術の向上を目指す。	1) 定例会開催 2) 研修会開催 3) 地区会員の地区会や地区活動の見学や参加への働きかけ 4) 会員の増員を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月毎の定例会の開催（zoom併用）。 ・定例会は審議事項の検討と講習会等の参加者による伝達講習を行う。 ・研修会や症例検討を行う。 ・2地区会員の把握、地区会や地区活動への参加呼びかけ。地区会費の徴収。 ・会員の増員を図る。（研修会へお誘い、助産師会の活動紹介）
2. 地域・所属を超えたネットワークの構築	1) 社会福祉協議会との連携 (1) 研修会講師として参加 2) 他職種との交流・連携を深める (1) STD対策推進協議会 (2) 母子保健推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンター基礎研修講師として4名参加 ・子育て支援関連・健康教育・防災関連・ママサークル等との交流を深める機会を作る。
3. 地域に密着した母子保健活動を積極的に行う。	1) 地域子育て支援事業への協力 2) 行政の母子保健事業に協力する (1) 浦安市こども家庭支援センター (2) 浦安市健康増進課 (3) 寄り添い型支援事業(千葉県) (4) 市川市産後ケア事業 3) 健康教育・講演会への講師派遣 (1) 健康教育 (2) 子育て支援講座	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てメッセ、子育て支援等の事業参加で、子育ての悩みや相談にのり、自立した子育てができるよう支援する。 ・助産師相談や養育支援事業の参加により特定妊婦等に必要母子支援を行う。 ・他職種との情報交換を積極的に行い、母子の切れ目ない支援を目指す。 ・健康教育の質の向上と活動の充実。 ・講師ができる人材育成。 ・研修会に参加、スキルアップをはかる。
4. 本部・千葉県助産師会事業への参加・協力	1) 「助産師の電話無料相談」に協力 2) 研修会の参加協力 3) 国際助産師の日の参加・協力	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談員として協力。 ・部会を超えた研修会への参加。 ・地区紹介作成等による参加・協力
5. 災害に備える	1) 浦安市との災害協定継続 2) 災害時迅速な対応ができる準備 3) 他職種との防災連携	<ul style="list-style-type: none"> ・浦安市防災訓練への協力。 ・連絡網の見直しと会員全員の安否確認のための方法を検討する。 ・女性目線の防災連携を検討する。

令和5年度 第3地区部会 活動計画

地区部会名：船橋地区	地区部会長：田村陽子
------------	------------

定例会開催予定：6回（適宜 zoom 開催）

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の結束を図り、お互いの知識や技術の向上をめざす。	1) 定例会の開催 (1) 理事会報告等の連絡 (2) 研修会の開催 2) 地区会員増加への取り組み (1) 地区便りの発行、配布	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有に努め、意見交換を心がける。 ・インシデント報告の機会を持つ。 ・伝達研修を含め、会員のニーズに添った研修会の開催をめざす。また、非会員の参加可能な研修も検討する。 ・年1回地区便りを発行する。
2. 地域に根ざした母子保健活動を行う。	1) 行政の母子保健事業に協力 2) 健康教育・講演会に講師を派遣し、地域の子育て支援に協力	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦・新生児訪問（赤ちゃん訪問）事業に協力する。 ・4か月児健康相談、1歳6か月児健診、3歳児健診に協力する。 ・パパママ教室、産前産後サポート事業に協力する。 ・不妊不育専門相談事業に協力する。 ・養育支援訪問事業に協力する。 ・命の授業、赤ちゃん講座、ベビーマッサージ、マタニティーヨガその他の依頼に対して講師を派遣する。 ・地域の子育て支援事業や健康まつりに参加協力する。
3. 災害に備える。	1) 災害時に落ち着いて行動できる体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策委員会が行う訓練に参加する。 ・災害時支援協力員の登録者を確保し保険加入への声かけを行う。 ・災害支援協定やマニュアルを見直す。 ・防災に関しての情報交換を行い、日頃から連絡を取りあえる体制をめざす。
4. 千葉県助産師会が主催する事業への参加協力を行う。	1) 「助産師の電話無料相談」に協力 2) 研修会への参加 3) イベントや事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・フライヤーを配布する。 ・研修会への参加を呼びかける。 ・総会時に協力する。 ・地区報告会の抄録を作成する。 ・国際助産師の日のイベントに協力する。 ・アウトリーチ型産後ケア事業に協力する。

令和5年度 第4地区部会 活動計画

地区部会名：習志野・八千代・鎌ヶ谷	地区部会長：金子みゆき
-------------------	-------------

定例会開催予定：8回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 地区会員の増員に取り組む。 4) 地域周産期センターや地域施設と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・年9回定例会（オンライン・対面） ・定例会でテーマを検討。地区会員内・外から講師を選出して研修会を行う ・新会員の勧誘のため勤務助産師への研修会などの声掛けをする。 ・施設勤務助産師との交流会、意見交換会を設ける。 ・東京女子医科大学八千代医療センター産科職員や地域会員との交流会を年2回行う。
2. 地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う	1) 子育て支援 2) 八千代市プレママ教室開催 3) 行政の事業に協力	<ul style="list-style-type: none"> ・会員各自の業務の充実 ・行政の母子保健事業・健康教育事業に協力 ・講師の派遣を行う ・地域の母子保健会議・医療会議へ参加 ・八千代市産後ケア事業に協力
3. 健康教育活動の充実	1) 「生と性の健康講座」開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会で研鑽し、講師の質の向上を図る ・講座内容の検討・質の向上を図る ・講師の育成・人材確保 ・教材及び資料の整備
4. 災害に備え体制を整える	1) 災害時速やかに行動できるための準備 2) 災害時、行政と連携し支援活動協力ができる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より安否確認を行い問題点等改善していく ・連絡網の整備 ・災害時、協定に基づき行動できるよう、協力員の確保等、地区部会内の整備を行う ・習志野市との災害支援協定締結後の話し合いを行う
5. 千葉県助産師会の事業への参加	1) 助産師による電話無料相談協力 2) スタジオアリス	<ul style="list-style-type: none"> ・地区会員が電話無料相談協力員として相談業務に参加する。 ・講師育成

令和5年度 第5地区部会 活動計画

地区部会名：印旛	地区部会長：佐々木明代
----------	-------------

定例会開催予定：4回

目標	事業	活動内容
1. 会員の交流を図り知識・技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会企画開催 3) 会員の増加 4) 日本助産師会会員として協力 5) 千葉県助産師会会員として協力	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催・地区研修は会員のニーズに沿って企画開催する ・研修会に地区内の潜在助産師へ呼びかけ入会案内し会員の増加を図る ・定例会・地区研修及びその他事業へ積極的に協力する
2. 地域に密着した保健指導を行う	1) 保健センター及び関係機関への事業協力 2) 地域の保健福祉事業への協力 3) こんにちは赤ちゃん事業	<ul style="list-style-type: none"> ・産後訪問事業の施行に協力し地域の母子の健康をサポートする ・市の母親学級への講師派遣、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん事業、成田市健康福祉祭りなど行政の事業に積極的に協力する ・佐倉市・四街道市・成田市・八街市・印西市・酒々井町の産後ケア事業に協力する
3. 思春期講話の充実を図る	1) 講師のスキルアップ 2) 認定者の育成 3) 講演会の講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに柔軟に対応できる新たな講師育成を行う
4. 千葉県助産師会事業への参加・協力をを行う	1) 県研修会・イベントへの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談員として協力 ・「国際助産師の日」イベント協力 ・「生と性の健康講座」に参加・協力 ・スタジオアリスマタニティーセミナーの協力
5. 地区部会の運営の円滑化を図る	1) 地区会員へのスムーズな連絡 2) 地区部会運営の参加 3) 役員の役割調整 4) 佐倉市・成田市・八街市災害協定 5) 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛地区部会会員が円滑に動けるように各役員の動きを調整する ・佐倉市・成田市・八街市との災害協定覚書の確認再考し協力する ・地域の防災訓練に参加する

令和5年度 第6地区部会 活動計画

地区部会名：香取・海匠・山武・夷隅・長生	地区部会長：石毛光代
----------------------	------------

定例会開催予定：4回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、知識や技術の向上に努める	1) 定例会の開催 2) 地区研修会の開催 3) 会員の地区会参加への働きかけ 4) 地区会員増員への働きかけ 5) 健康教育の講師育成	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の定例会は、コロナウイルス感染状況をみながら、リモートまたは地区内施設で開催する。 ・研修会は定例会にあわせて開催する。テーマは会員のニーズを基に決定し、伝達講習、実践報告、意見交換を行う。 ・地区内外で行われる研修会の参加 ・定例会などの予告報告は都度メール配信する。 ・非会員へ研修会のお知らせをする。
2. 地域に密着した母子保健活動を行い、地域との連携に努める。	1) 行政母子保健事業への協力 2) 城西国際大学祭の参加（許可のあった場合） 3) 健康教育。講演会への講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問、両親学級、育児支援事業への協力 ・母子保健関係会議や研修会への参加 ・城西国際大学看護助産学科教員と意見交換し、PRを含めた企画と実施 ・講師依頼に対し調整する
3. 県助産師会事業への参加・協力を行う	1) 電話相談事業に協力 2) 子育て委員会担当 3) スタジオアリスマタニティセミナー協力 4) 国際助産師の日イベントへの協力	<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談員として協力、地域へのPRを行う。 ・子育て委員会を担当し活動する。 ・マタニティセミナー担当者との意見交換、セミナー実施、希望者を募る ・担当地区の指示のもと協力
4. 災害対策を整える	1) 災害時の対応について検討 2) 災害訓練への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時支援マニュアルを基に、地域の特性に合った対策を話し合う。 ・地域の防災対策に対する情報収集と行政との連携を検討する。 ・災害訓練参加の準備と実施後の評価を行い、次に活かす。

令和5年度 第7地区部会 活動計画

地区部会名：千葉	地区部会長：菅谷厚子
----------	------------

定例会開催予定：12回

目標	事業	活動内容
1. 母子保健知識の普及・生命の大切さの普及・女性の健康支援を行う	1) 土日両親学級 (千葉市委託事業) 2) 不妊専門相談〔電話相談〕 (千葉市委託事業) 3) 「いのちの講座」開催 4) 千葉市母子保健事業 5) オンライン開催事業 6) 施設との連携 7) 千葉市のイベント事業 8) 千葉県助産師会事業 9) 国際助産師の日のつどい運営	<ul style="list-style-type: none"> ・18回開催(第1回:12回 第2回:6回)新型コロナ感染対策のため定員を18組36名/回とする。作成テキストを配布し講話形式。 ・「不妊・不育いのちの温♡line」を週1回、4名で担当する。 ・親子で学ぶ講座Ⅰ、親子で学ぶ講座Ⅱを開催する。 ・各事業へ講師、相談員を推薦する。(母親&父親学級、母乳教室、女性の健康相談、不妊専門相談〔面談〕、思春期保健事業、千葉市産後ケア事業(委託助産院)) ・温♡line 育児グループ&個別トークの開催 ・温♡line 講座“親になるクラス”を配信 ・産科施設と連携し産褥訪問を行う。 ・精神科1施設と連携し母子の継続支援を行う。カンファレンスを通し、情報交換を行う ・千葉市のイベントへ参加、協力をする。 ・電話無料相談員、スタジオアリスマタニティセミナー講師への協力をする。 ・第19回国際助産師の日のつどい in 千葉を担当地区として開催する。
2. 助産師の知識・技術を高める	1) 研修会の開催 2) 事例検討会・報告会 3) 学生実習協力	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市母子保健事業業務委託会による研修会を3回開催する。 ・定例会を活用し、事例検討会や事例報告ミニ学習会、抄読会を行う。 ・東京情報大学看護学部学生実習へ協力
3. 組織を強化し、運営を円滑に行う	1) 運営に関する会議 2) 他機関との連携 3) 助産師活動の広報 4) 会員増を目指す 5) 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回総会、適宜理事会を開催する。毎月定例会を開催し、委員会活動を充実させる。総会資料、議事録を会員へ配信、発送する。 ・行政関連委員を受諾し会議に出席する。 ・ホームページ、公式LINE、リーフレットを活用し、広報及び情報提供をする。 ・千葉市と連携し、協力体制を整える。

令和5年度 第9地区部会 活動計画

地区部会名：市原・君津・安房	地区部会長：根岸 雄子
----------------	-------------

定例会開催予定：5回

目標	事業	活動内容
1. 会員同士の交流を図り、お互いの知識や技術の向上に努める。	1) 定例会・研修会を開催する。 2) 会員増加を図る。 3) 各会員の活動状況を紹介し理解する。	1) 定期的に研修会を企画し、知識、技術向上に努める。 2) 潜在助産師への勧誘を行う 3) 本部・県の研修への参加を促し、伝達講習を行う。
2. 地域に密着した母子保健活動・健康支援活動を行う。	1) 各地区の母子保健事業に協力する。 2) 各地域の産後ケア・子育て支援事業と連携・協力する。 3) 健康教育活動に協力する。 4) 各地域の市民祭りに参加協力する。 5) 各地域の母子保健推進や周産期の委員を務める。	1) 活動報告を参照。 2) 切れ目のない産後ケア事業推進のため、助産所で行う、訪問型・宿泊型・ディサービス・乳房ケア等の協力を行う。 3) 県の指針に沿って、地域の健康教育を担当し、講師派遣を行う。 4) 地域の市民祭りに参加し、助産師職をアピールして理解を求める。 5) 母子保健推進委員・周産期連絡協議会・健康まちづくりプラン等の会議への参加。
3. 支援事業への参加・協力	1) 会員の協力を得て支援事業への参加・協力 2) スタジオアリスマタニティーセミナーへの講師派遣	1) 電話相談の協力・症例検討会参加・対応の情報共有など。 2) 講師の担当・派遣・連絡
4. 災害に備え、体制を整える。	1) 災害時迅速に対応できる災害対策づくり。 2) 2019年自然災害の経験を踏まえ、地域との連携を深める。	1) 連絡網づくり ライン・Eメール・電話等連絡方法を検討・活用しシミュレーションに参加。 (1) 災害対策協力員の確保 5名の災害対策協力員確保し、今後も増員を目指す。 (2) 災害時の迅速な安否確認。 (3) 他地区での災害イベントに参加、防災意識等の再認識 2) 木更津市と締結後の連携構築

3. 専門部会活動計画

- 1) 助産所部会
- 2) 保健指導部会
- 3) 勤務助産師部会

令和5年度 助産所部会 活動計画

【年間目標】

1. 助産所業務ガイドラインを遵守した安全な助産所運営と質の向上に取り組む。
2. 将来助産院を開業したい方達向けの研修会を開催する。
3. 助産所部会員の増加を目指す。

【定例会開催予定】

年 10 回 水曜日 13:30～16:00（オンライン会議も含む）

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 助産所業務ガイドラインを遵守した助産所運営を行う。	1) 分娩を扱う助産所全てにて、複数人での安全管理評価訪問を行う。 (1) 担当(小柴、米丸、正林)が日程調整を5～11月に行い実施。 (2) 集計し12月に本部へ提出する。 2) 常に嘱託医療機関と報告、研修会等を通じての連携を図る。
2. ヒヤリハット、インシデント報告を促し、安全な助産所運営と質の向上に取り組む。	1) 定例会にて、グッジョブ、ヒヤリハット、インシデントを報告する。 2) 安全対策委員会と協力し、集めたグッジョブ、ヒヤリハット、インシデント事例を皆で振り返り検討する。 3) 年度末に分娩数の集計及び医療整備課(ちば医療ナビ)への報告 4) 1～6月、7～12月のインシデント、アクシデント報告書の作成・提出をお互いに促し、安全対策委員長に提出する。
3. 将来助産院を開業したい方達向けの研修会及び助産所見学を開催する。	1) 対面での研修会を企画する。各16名ずつ。 (1) 5/23(火)AM 妊娠中から身体を整えるための骨盤ケア 講師：米丸充咲 あびこ助産院 (2) 5/23(火)PM 事例を通して学ぶ妊娠中からのおっぱいケア 講師：小柴和子 キミツナカノ助産院 2) 情報共有と今後の活動のヒントを得る場とする。 3) 勤務助産師部会長と連携し、自然なお産を周知するための研修会を検討する。

令和5年度 保健指導部会 活動計画

【年間目標】

1. 病院と地域が連携した産後ケアの実現に向けて取り組む
2. 保健指導型助産院の安全管理指針・BCP作成に向けて取り組む

【定例会開催予定】

毎月1回の定例会の開催

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 病院と地域が連携した産後ケアの実現に向けて取り組む	<ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠中からの地域連携を図る <ol style="list-style-type: none"> (1) 千葉県・医師会・看護協会等への積極的な働きかけ (2) 各地域の病院・保健センター・子ども家庭支援センター等との関係の構築 2) 信頼される質の高い産後ケアを提供する <ol style="list-style-type: none"> (1) 産後ケアに活かせる学習会や研修会の実施 (2) 会員同士の情報交換
2. 保健指導型助産院の安全管理指針・BCP作成に向けて取り組む	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健指導型助産院（来所型）の安全管理指針の作成について検討 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本助産師会助産師所安全管理指針を参考にする 2) 保健指導型助産院のBCP作成について検討 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本助産師会BCP作成ガイドラインを参考にする

令和5年度 勤務助産師部会 活動計画

【年間目標】

1. 日々の実践に役立つ研修を開催する。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。
3. 切れ目のない産前・産後支援に向けて、勤務助産師と地域との連携を図る。

【定例会開催予定】

メールやZOOMを用いて年4回以上

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 日々の実践に役立つ研修を開催する。	1) 助産実践に役立つ研修会の企画および開催をする。
2. 勤務助産師同士がつながるために、勤務助産師のニーズの把握や助産師同士の交流を図る。	1) 会員のニーズ把握に向けてアンケート調査を実施する。 2) 勤務助産師の交流集会を開催する。
3. 切れ目のない産前・産後支援に向けて、勤務助産師と地域との連携を図る。	1) 交流集会において勤務助産師と地域の助産師との交流を図る。

4. 委員会活動計画

- 1) 教育委員会
- 2) 子育て委員会
- 3) 安全対策委員会
- 4) 災害対策委員会
- 5) 広報委員会
- 6) 将来構想検討委員会
- 7) 細則検討委員会
- 8) 生と性の健康教育委員会

令和5年度 教育委員会 活動計画

【年間目標】

1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する
2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する
3. 遠隔による効果的な委員会活動を実施する

【定例会開催予定】

随時（ZOOM、LINE、mail）

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 助産師の継続教育として必要な研修会を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1) 体系化した教育計画を立案する 2) 受講者のニーズを満たす研修会内容や研修方法を工夫する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する
2. 社会状況に対応可能な研修会の年間計画を立案・実施する	<ol style="list-style-type: none"> 1) 他部会及び委員会と連携した体系的な教育計画を実施する 2) 社会状況を踏まえ、立案した教育計画を速やかに修正し運営する 3) 実施した研修会が継続教育に有効であったかを評価する
3. 遠隔による効果的な委員会活動を実施する	<ol style="list-style-type: none"> 1) 委員会メンバーの役割分担を整備し実施する 2) ZOOM、LINE、mail を使用し委員会メンバー間で情報共有する

令和5年度 千葉県助産師会教育計画

研修会名 (募集人員)	研修内容	講師	開催日時	開催方法
【教育委員会】 地区報告会	各地区の実践報告	1. 2. 3. 4地区	7月	大潮で送付
【助産所部会】 骨盤ケアシリーズ (午前・午後 各16名)	<午前> 妊娠中からの骨盤ケア <午後> 妊娠中からの母乳育児支援	キミツナカノ助産院 小柴 和子先生 あびこ助産院 米丸 充咲先生	5月22日 (月)	対面
【保健指導部会】 抱っこ紐講座	ベビーウェアリングの 抱っこ紐講座	未定	6月 または 7月	ZOOM
【子育て委員会】 交流会 (50名)	事例検討を主体としたもの	未定	6月 または 7月	ZOOM
【生と性の健康教育委員会】 “助産師が行う”を極める (30名)	Part2～コアと表現を極める～	生と性の健康教育委員会 委員	7月2日 (日) 9:30～ 12:00	ZOOM
【安全対策委員会】 安全対策研修会 (チームステップス) (80名)	「産科救急の実践」動画と 講義によるシミュレーション	ファミリー産院きみつ 院長 長田 久夫先生 船橋中央病院 淀川 祐紀先生	7月2日 (日) 14:00～ 16:00	ZOOM
【勤務助産師部会】 授乳支援	乳房ケア, 乳腺予防ケア	未定	7月 または 11月	ZOOM
【教育委員会】 マタニティフィットネス研修会	体験研修	日本マタニティフィット ネス協会	9月	対面
【勤務助産師部会】 交流集会	助産師活用事業について 日本の現状と課題	厚生労働省 医政局看護課	10月	ZOOM
【子育て委員会】 研修会 (50名)	電話相談事業に関わる内容	未定	11月	ZOOM
【教育委員会】 NCPR Sコース① (午前・午後 各6名)	NCPRスキルアップ認定講習	さんむ医療センター 玉野 あや乃先生 他	11月26日 (日)	対面
【安全対策委員会】 安全対策研修会		未定	12月	ZOOM
【教育委員会】 産前産後のケアにおける メンタルヘルス支援 (前編)	産後ケア研修に該当するもの アドバンス研修に該当するもの	城西国際大学 大橋 優紀子先生	12月	ZOOM
【保健指導部会】 養子縁組に関する学習会		未定	12月 または 1月	ZOOM
【教育委員会】 産前産後のケアにおける メンタルヘルス支援 (後編)	産後ケア研修に該当するもの アドバンス研修に該当するもの	城西国際大学 大橋 優紀子先生	1月	ZOOM
【教育委員会】 NCPR Sコース② (午前・午後 各6名)	NCPRスキルアップ認定講習	さんむ医療センター 玉野 あや乃先生 他	2月4日 (日)	対面

参加費は研修会により異なります。HP等で研修会案内をご確認下さい。

今年5年度 子育て委員会 活動計画

【年間目標】

1. 電話相談事業を円滑に運営、継続するためのシステムの構築。
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める。

【定例会開催予定】

毎月一回行う。(未定)

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 電話相談事業を円滑に運営、継続するためのシステムの構築	1) 持続可能な安定した電話相談事業の運営 <ol style="list-style-type: none"> (1) 柔軟で安定した運営システムの確立。 (転送設定の変更に伴う設定操作の確認 リマインドメールの活用、相談員同士の協力体制の強化) (2) 適宜、地区連絡係を通して相談員間の情報共有を行う。 (3) 会員同士の情報共有とスキルアップの為に研修会を適宜行う。 2) 毎年継続していけるような安定した相談員の確保 <ol style="list-style-type: none"> (1) 繰り返し、会員全体への相談員登録への呼びかけを行う。 (2) 研修会などを通し、会員が電話相談事業へ関心を向け、社会的に重要な役割であるという意識が持てるように図る。
2. 相談員が継続して協力していけるためのメンタルヘルスに努める。	1) 相談員が安心して継続した協力ができる環境を整える。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 交流会などを通じて各々が抱える不安や対応スキルの情報交換を行っていき、個々のスキルアップと不安の解消を図る。 (2) 困ったと感じる相談、重たいと感じる相談について、情報共有し相談員のメンタルフォローに努める。 (2) 電話相談のみで解決が難しい場合は、他機関と連携して支援をする。

令和5年度 安全対策委員会 活動計画

【年間目標】

1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える。
2. 助産所安全管理評価を助産所部会と共同で実施できる。
3. 安全対策の視点で、母乳育児支援・産後ケアの在り方が向上できる。
4. 保険加入への推進を図る。

【定例会開催予定】

毎月1回 ZOOM 会議を開催

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 事故・搬送・転院事例・ヒヤリハット事例の報告が的確に行える	1) 年2回の研修会企画・開催 (1) リスクマネジメント研修会 2) インシデント・アクシデント報告の運用方法 (1) インシデント・アクシデントの意義を告知 (2) インシデント・アクシデント報告の活用を検討
2. 助産所安全管理評価を助産所部会と共同で実施できる。	1) 助産所部会長と協働し、「助産所安全管理評価」を実施 (1) 嘱託医、協力医療機関との契約更新・保険加入の確認 (2) 改善点・気づきを共有する
3. 母乳育児支援・産後ケアの在り方が向上できる。	1) 安全な母乳育児支援、産後ケアのための情報を共有する 2) with コロナにおける感染症対策に関する情報提供を行う
4. 保険加入への推進を図る。	1) 会員に保険加入の必要性を伝達する 2) 保険加入状況を確認する

令和5年度 災害対策委員会 活動計画

【年間目標】

1. 通常定例会や共通ツールにて全地区の情報共有を図る。
2. 災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。
3. 日本助産師会・近隣都道府県助産師会との連携を図り協力体制を構築できるように努める。
4. 地域の災害対策事業に参加する。

【定例会開催予定】 3回

【活動目標】

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 全地区の情報共有を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通常定例会及び必要に応じ臨時会議を開催する。 2) 各地区との情報の収集や共有、また問題発生時には解決に努める。
2. 災害時の初動動作に有効なシミュレーションを検討し、準備実施をする。	<ol style="list-style-type: none"> 1) シミュレーションができる災害時訓練への参加を促す。 2) 改訂後の災害時マニュアルの熟読を推進する。 3) 災害時支援協力員・協力助産院の確保に努める。 4) 会員全員周知を目指し各地区にて災害時連絡網を整備する。 5) 初動動作が円滑にできるよう、災害対策本部の役割の細部まで検討し、シミュレーション訓練を実施する。
3. 日本助産師会・近隣都道府県助産師会との連携を図り、協力体制を構築できるように努める。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本助産師会主催及び他機関主催の災害対策研修へ参加する。 2) 研修会等で近隣助産師会の災害時支援の連携について検討し合い、顔の見える関係を築くことができるように努める。 3) 近隣助産師会による支援協力を受ける時の手順を考える。
4. 地域の災害対策事業に参加する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 市町村との災害時支援協力を図る。(災害時支援協定) 2) 災害時支援協定締結後の市町村との細部の活動を確認する。 3) 地域の防災訓練に参加し、助産師活動をアピールする。 4) 千葉県リエゾンへ積極的に参加し、リエゾンの一員としての役割を果たすことができるように努める。

令和5年度 広報委員会 活動計画

【年間目標】

1. 広報紙「大潮」を発行し、千葉県助産師会の活動を会員および他機関に広く周知する
2. 作成したマニュアルの検討をする

【定例会開催予定】

- 大潮発行に合わせ適宜開催する（7月、12月、3月発行予定）
 その他必要時、メール・ラインでの会議を行う

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 「大潮」を発行する	1) 年3回、計画的に発行する。 2) 原稿依頼・編集・発送に関して、役割分担・手順をマニュアルに沿い、効率よく大潮の作成、発行する。
2. 大潮を通して、会員へ助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、会員に配布する。 2) 会員へホームページとメーリングリストの活用について広報する
3. 大潮やリーフレットを通して関係諸機関へ千葉県助産師会の活動を広報する	1) 千葉県助産師会の事業や研修会の情報などを掲載し、日本助産師会および関係諸機関に送付する。 2) 千葉県助産師会のホームページに大潮を掲載する。 3) 各地区のイベントなどで、リーフレットや大潮を配布し、千葉県助産師会の活動を広報する。
4. 活動の写真を、整理・保存する	1) 使用した写真はデータとして、整理し、保存する。
5. 広告掲載	1) 企業の広告掲載依頼があった場合、原稿の編集、大潮の郵送、県会計への連絡など取りまとめをする

令和5年度 将来構想検討委員会 活動計画

【年間目標】

1. 社会の変化やニーズを把握し、助産師会活動に反映する。
2. 会員増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。
4. 助産院の存続と発展に向けた活動を行う。
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。

【委員会開催予定】

運営会議および理事会後に開催する。

活動目標

目標	実施計画および具体的内容
1. 社会のニーズを把握し、助産師会活動に反映する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国・県・市町村から発信された情報を収集する。 2) 関連機関との連携を促進し、情報収集に努める。 3) 情報を運営会議や理事会で共有し、訪問看護ステーションなどの事業展開について検討する。 4) 必要に応じて助産師会独自、県及び市町村による事業展開に向けた準備に着手する。
2. 会員の増加に努めると共に、潜在しているマンパワーの把握と育成の提案を行う。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 会員の増加に努める。(目標：375名) 2) 会員の活動調査内容を把握し、必要な情報を発信する。 3) 会員の育成に必要な研修会を提案する。
3. 事務所の管理・運営の安定化を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 事務所の活用を図るため、管理・運営方法を見直す。 2) 事務員の雇用の維持・安定化を図る。 3) 事務所移転を考慮する。
4. 助産所の存続と発展に向けた活動を行う。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 助産所(有床・無床)の減少を最小限にし、継続・発展するために後継者の育成を図り企画を協議する。 2) 助産所分娩施設の安全を守り、継続的に経営が成り立つために連携医療機関・嘱託医の確保に努める。 3) 各専門部会(助産所部会・勤務助産師部会・保健指導部会)の会員の意見を収集し、専門職としての意見を県市町村に反映する。 4) 活発に運営している県外を含めた助産所(助産、保健指導、訪問看護)施設見学、講話等を通して学ぶ。
5. 地区部会の入会者を増やし、地区部会活動への参加を促す。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 各地区部会の母子保健活動に関する情報を収集し整理する。 2) 全ての会員が該当地区部会に所属し、地区部会活動に参加する機会を得られるよう促す。
6. 専門部会間の連携を強化して組織活動を展開する。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 3部会の部会間の連携を図る。 2) 3部会に共通したテーマについて検討する機会をもつ。 3) 病医院、助産所、地域で働く助産師が連携する方法を他の組織団体とも協力を得ながら探る。

令和5年度 細則検討委員会 活動計画

【年間目標】

1. 定款・細則の見直しを行う。
2. 各部会・委員会の規程および活動マニュアルの作成を支援する。
3. 規程集を作成する。

【定例会開催予定】

理事会後に開催する。(年4回程度)

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 定款および細則の見直しを適宜行う。	1) 総会において、定款を改正する。 2) 地区集会やホームページを通し、会員への周知を図る。 3) 定款と細則の見直しを行う。
2. 各専門部会・各委員会の規程作成および活動マニュアル作成の取り組みを支援する。	1) 各委員会の規程を適宜見直す。 2) 規程が作成されていない委員会には規程案の作成を支援する。 3) 各部会や委員会の役割を明確にし、規程および活動マニュアル作成の取り組みを支援する。
3. 規程集を作成する。	1) 既存の規程を適宜見直す。 2) 本会の活動に必要な規程があれば、新たに作成する。 3) それぞれの規程を規程集としてまとめる。

令和5年度 生と性の健康教育委員会 活動計画

【年間目標】

1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する

【定例会開催予定】

Zoom 会議を適宜開催する

活動目標

目 標	実施計画及び具体的内容
1. 「生と性の健康」の意義・必要性について会員の理解を深める	1) 研修会・交流会を開催する (1) 7月2日(日) オンライン研修会を開催する テーマ「‘助産師が行う’を極める part2～コアと表現を極める～」 2) ニュースレターの活用をすすめる
2. 「生と性の健康教育」の方略を検討する	1) 様々な課題を抱える中で、今後も健康教育を実施・継続していけるよう図る